

小栗上野介情報87

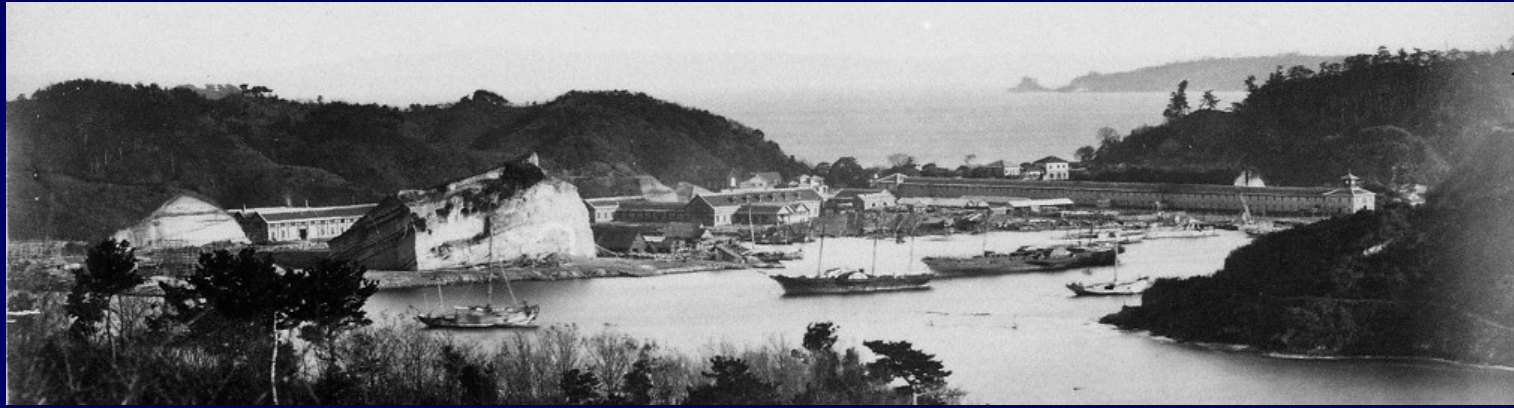
ホームページHttp://tozenji.cside.com/ Eメール: tozenji@clock.ocn.ne.jp



2023(令和5)年10月
発行:東善寺 住職 村上泰賢
群馬県高崎市倉渚町権田169
〒370-3401
Tel・fax:027-378-2230
〒振替00120-1-406206東善寺

◆横須賀市民・日本国民の皆さん 認識革命のススメ

日本産業革命の地は横須賀造船所



横須賀造船所工場群

幕末に壮麗な工場群が並び、工場ごとに蒸気機関によるモノづくりが慶応年間に始まっていた。

中央左の白仙山の右裾に1号ドック、山を削りさらに掘って2号3号ドックが造られた。

写真は明治初年頃

◆「日本産業革命の地」は政府・国会が決めるのではない。市民・国民が歴史の事実を確認すれば「日本産業革命の地は横須賀造船所」となります。

◆「いま米軍基地だから無理」という声…世界遺産にして米軍基地を観光地にしようという話ではありません。歴史を確認するだけの話。「日本近代工学のいっさいの源泉」(司馬遼太郎一街道をゆく『三浦半島記』)だった史実を確認して「たしかに日本産業革命の地」と認識、「日本産業革命の地・横須賀」と都市宣言して市の政策の基軸に加えれば、若者が誇りを持って語れる街「横須賀」になってゆきます。

*名称:横須賀製鉄所—明治4年横須賀造船所—海軍工廠—米海軍横須賀基地 と変遷

横須賀造船所 4つの特徴

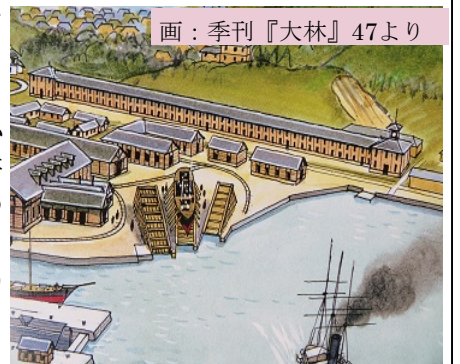
◆この特徴分類は村上泰賢の私見です

1865慶応元年に着工した横須賀造船所は、次の特徴がある。

- 1、何でも造る総合工場…鉄製品(蒸気機関・スクリュー・シャフト・歯車・ネジ・大砲・砲弾・ライフル銃・鍋・釜・スプーン・ナイフ・バケツ)、木工品(船体・船室・滑車・階段)、帆布、ロープなど何でも造り、船も造る総合工場だった
- 2、蒸気機関が原動力…首長ヴェルニーはすべての工場の原動力を蒸気機関とし、できた工場から慶応年間に稼働していた
- 3、人材育成機関で人づくり…モノづくりの原点は人づくり。覺舎こうしゃ、機関学校で優秀な技師・職工を育てた
- 4、近代経営の方式定着…ヴェルニーの指導で定時労働・日曜休日制・健康管理・年功給・技能給・月給制・メートル法・近代式簿記・労務管理に日本人が合わせて働き、近代勤労市民生活が横須賀から始まった

横須賀造船所の影響

- ◆富岡製糸場は横須賀の妹…横須賀の仏人建築担当技師たちが造船所の工場をモデルに50日間で設計図を書き、富岡へ行って建設。横須賀の日本人大工が同行したのは設計図がフランス語、寸法がメートル法だったから。経営も横須賀に倣わぬ仏人の経営方式に日本人が併せて近代勤労市民が生まれていった。
- ◆中島飛行機は横須賀の弟…海軍機関学校で学んだ中島知久平が中島飛行機を興し、現在スバル自動車・日産プリンス自動車・マキタ・IHIエアロスペースなどに技術が伝わっている。
- ◆生野銀山は横須賀の義弟…明治初年の再掘で、横須賀から蒸気機関、採掘工具を取り寄せ「モデル鉱山」となり全国の採掘法改良に貢献した
- ◆呉海軍工廠は横須賀の弟…明治18年に建設された



画:季刊『大林』47より

近代工学の流れ 船～トンネル～宇宙まで

近代工学は造船工学(船体工学と機関工学)～飛行機工学～宇宙工学と発展してきた。しかし現在でも、シーールドマシンは造船技術で製造され、宇宙ロケットにも影響を及ぼしている。

東郷平八郎の謝辞 「日本を救った…」



明治45年夏、東郷は小栗家遺族を自宅に招き「日本海海戦でロシア艦隊を破ることができたのは小栗さんが横須賀造船所を造っておいてくれたおかげ…」と礼を言い、書を揮毫して贈った。

▲東郷の書(小栗家→東善寺蔵)

造船所の価値を知らない市民・国民

知らない理由

- 1、いま造船をしていない(修理部門だけ)…若者は無関心
- 2、かつて軍港だった=軍国主義のシンボルというマイナスイメージ…戦後大人が造船所の歴史を語らない時間が続いた。
- 3、学校で教えていない「横須賀造船所と小栗上野介」造船所…明治政府は「日本は明治以後に文明開化した」と教えてきた。「幕末に幕府が行なった近代化=横須賀造船所」は不都合だから価値・意義を教えず、利用だけしてきた…いまでも。小栗上野介…「西軍が無実の罪を着せて殺した」から明治政府の汚点・トラウマとなり人物・業績も含め知られたいくない。

◆国際レース「近代化」…に参加するため 横須賀造船所 建設を進めた小栗上野介



▲小栗忠順像 朝倉文夫作 東善寺境内

◆「真の武士」たらんとした小栗上野介の言葉

「幕府の運命に限りがあろうとも、日本の運命に限りはない」

—幕府が終わっても、日本は続く。横須賀造船所という土蔵付き売据え（居抜き物件）にしてやれば、いずれ役に立つ—

*東郷の謝礼は、「土蔵（横須賀造船所）がほんとうに役に立って日本を救った」ということ

遣米使節 ワシントン海軍造船所見学

◆全て蒸気機関の設計図に異論がなかった…横須賀造船所首長ヴェルニーが書いた設計図はすべての工場が蒸気機関を原動力としていた。「もっと安い水力を使え」という異論が出なかったのは、1860万延元年遣米使節一行が強く希望してワシントン海軍造船



副使 村垣範正

正使 新見正興

目付 小栗忠順

所を見学していたから一。そこは蒸気機関で鉄を基盤に何でも造り、「船も」造る総合工場だった。

◆国際レース「近代化」種目…「近代化」レースは一斉スタートではなく、支度のできた国から走り出していい種目。アメリカは背中も見えないほど先を走っている。小栗は日本は造船所を造ればスタートできると確信し、帰国後に造船所建設を提議し続けた。1864元治元年ついに幕閣が承認し、1865慶応元年に一漁村横須賀村に山を崩し埋め立てる地形工事から造船所建設を開始した。

小栗上野介の日本近代化 帰国後8年間

- 1、横須賀造船所建設…小栗が造りたかったのはたんなる「軍艦製造所」ではなく、ワシントン海軍造船所のように蒸気機関を原動力としてあらゆる物を作り、「船も」造る総合工場。明治政府は明治25年頃から海軍専用工場とし、軍港化していった
- 2、フランス式軍事訓練…仏人教官が招かれ歩兵・騎兵・砲兵訓練を行なった。はじめ横浜、後に江戸駒場に移った。
- 3、フランス語学校開設（横浜）…盟友栗本鋤雲（じょうん）と全寮制の「仏蘭西語学伝習所」を開設。養嗣子小栗又一もここで学び通訳もできる人材となったが、高崎で西軍に殺害された
- 4、鉄鉱山開発 中小坂鉄山（下仁田町）…「木の国」日本をアメリカで見たような「鉄の国」にするため、横須賀造船所建設に合わせて鉄山開発を進めた。明治政府に引き継がれ実際に生産
- 5、日本最初の株式会社「兵庫商社」設立、ほかに築地ホテル・船会社（小布施で構想）…外国商人は個人でなく「商社組合・コムペニー」であるから大資本。日本の個人商人は大資本の外国

人に操られ日本人同士が競争させられて利益が上がっていない。小栗は大坂の商人が商社組合「兵庫商社」を結成して、外国人商人と対等な貿易で利益が出る仕組みを指導した。

- 6、大砲・火薬製造所（滝野川）…王子地区工業化の基となった
- 7、ガス灯・郵便・電信・新聞・鉄道開設の提唱…兵庫商社の利益と国に入る関税利益で、第2段階で展開させる計画だった。新聞は福沢諭吉に担当させようとした。郵便は「書信館」の名称で提議している
- 8、中央銀行・商工会議所・金札発行など提唱
- 9、郡県制の提唱
- 10、森林保護提唱…木造船のため計画的な植林・伐採を提議

小栗一族 上州に結んだ夢—無惨

◆帰農隠棲…幕府解散で、幕府の帰農許可を得て上州榑田村（高崎市倉渕町）へ家族ぐるみで移住。数人の家臣家族も同行移住した。東善寺に仮住まいし「いまにこの谷から太政大臣を出してみせる」と学校設立も構想していた。



▲小高集落の要望で測量した「小高用水」は現在も使用

妻道子は川原で草摘みし、神社に安産参詣をして農村生活に溶け込み始めていた。帰農に取り掛かって2ヶ月後、西軍（明治新政府軍）が無実の罪を着せ、1868慶応四年閏四月六日、七日に小栗父子と家臣6名を斬首殺害。奪った家財道具を売り払い軍資金として持ち去った。新政府が行なった強盗殺人に等しい行為は新政府にとって「知られたくない」汚点・トラウマとなり、明治政府が始めた学校教育で無視抹殺してきた…いまも。

◆会津へ逃れた小栗夫人…道子夫人・母・養女鋤（きよこ）子は榑田の村人に守られ、山河を遥かに越える苦難の旅で会津へ脱出、会津で遺児国子を出産。のち母子は東京に出て大隈重信夫妻の



▲顕彰慰霊碑（倉渕町）「偉人小栗上野介 罪なくして此所に斬らる 蜷川新書」

保護を受け、明治20年に国子は前島密の仲人で結婚した。

◆官軍意識…顕彰慰霊碑の建立を届けると高崎警察署長から「小栗上野介を斬ったのは官軍=天皇様の軍隊だ、罪のない者を斬るはずがない」と碑文にクレームが付いた。その官軍意識をくぐり抜けて建立にこぎつける苦心を村人は味わっている。